やすうら元気印

「そば打ち名人」は照れ屋な地元の守り神

新宅康治・弘子さん夫妻は、定年後、故郷安浦の跡条で田畑の管理をしながら第二の人生を歩んでこられました。

康治さんは、数年前からそば打ちに興味を持ち、豊平どんぐり村のそば打ちの達人に師事し修行され、平成22年に見事2段に合格されました。

今では、20アールの休耕田を借りてそばを植え、栽培から収穫するまでを一人で手がけています。つるりと喉ごしの良い打ち立てそばと、格別なつゆの味が評判となり、高齢者サロンや跡条老人会などに提供され、皆さんの喜ばれる顔が後押しとなって腕を振るっておられます。

一方で、福祉施設で不要になった植木や、自宅にあった梅・つつじを一緒に善兵衛山「通称アンテナ山」へ近所の皆さんとの協力で移植を行い、丸太でいすやテーブルを製作して、綺麗な公園を整備したそうです。

康治さんは「好きでやっているだけ」とあくまでも控えめで、美化に努める謙虚で照れ屋なそば打ち名人です。

連絡先 84－3415

地域ネット「くれんど」

お弁当を通じ地域と関わりたい

障害を持っていても特別な存在ではなく、普通に地域の一員として暮らしたい､そんな思いで設立したのがＮＰＯ法人『地域ネットくれんど』です。

地域と関わっていきたいという思いで始まったのが「日替り弁当」作りです。食材は出来るだけ地域で採れた旬の物を使い、お米も近隣の減農薬米を使用し、安心・安全で体によい物を手間ひまかけて作っています。

障害を持つ利用者さんとスタッフが作るお弁当は『安くておいしい』と評判。現在は20食程度作り、主に安浦の公共施設の方に買っていただいています。今後は数量を増やして一般家庭の方にも提供し顔なじみになりたいとの事です。

『将来は自分達で作った野菜をお弁当に使い、パンやお菓子作りなども行い、食と農を通じて地域とつながっていきたい』とスタッフの方は語っていました。

◆特定非営利活動法人　地域ネットくれんど 84－3731

まちづくり活動事業助成の募集！

まちづくり活動を応援

安浦町まちづくり協議会では、市民協働のまちづくりを推進するため、町内を対象としたよりよいまちづくりにつながる「まちづくり活動事業」を募集し、その活動に対して事業経費の一部を助成します。

○募集期間　平成22年7月12日（月）～平成22年8月6日（金）
○助成金額　助成総額30万円（1団体につき対象経費の2/3とし、10万円を上限）
○公開プレゼンテーション　平成22年8月28日（土）
○連 絡 先　安浦町まちづくり協議会事務局　84－2261　宮下・宮田

まちづくり情報誌

TANTO

たんと

No.4

安浦町まちづくり協議会

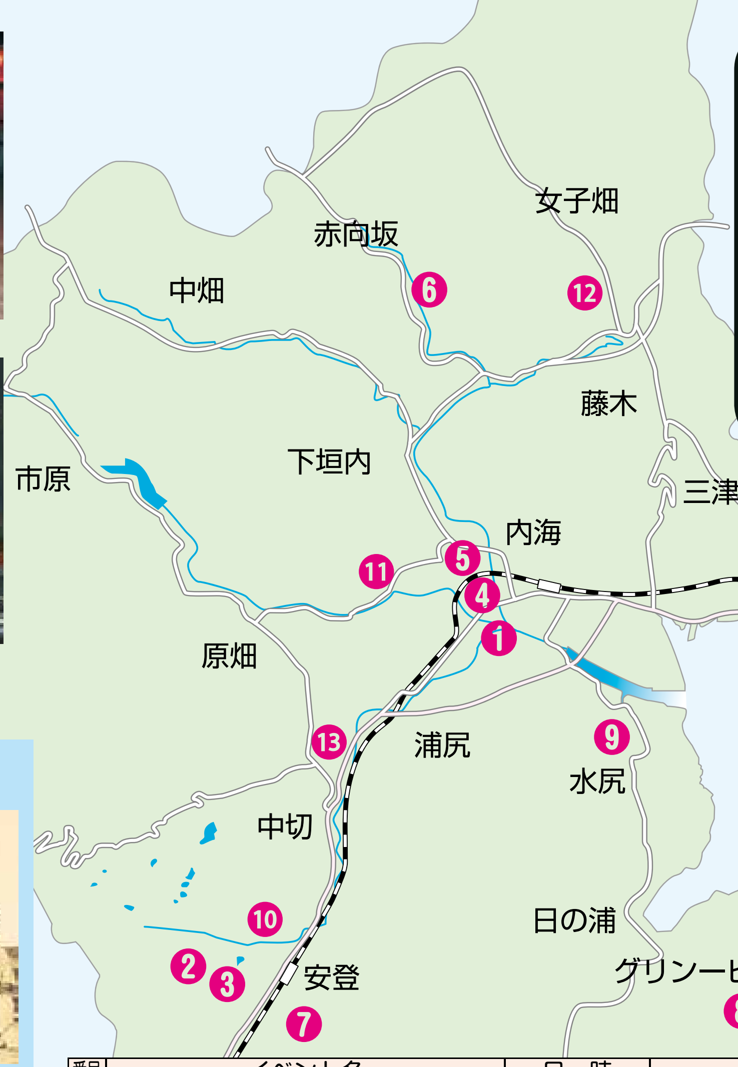
発行　平成22年7月10日

2010 やすうら夏のイベントマップ

春香園盆おどり大会

安浦夏まつり会場

安浦夏まつり花火大会



昔から続く安浦の伝統行事

呉大会出場の赤向坂盆踊りクラブ　昭和29年

内海石投げ踊り（内海小校庭）　昭和25年

番号	イベント名	日　時	開催場所	時　間
❶	祇園さん	7月18日（日）	内海松岡荘前　八重垣神社	18：00～
❷	中央ハイツ自治会　納涼パーティー	7月31日（土）	中央ハイツ中央公園	17：30～
❸	市迫　夕涼み会	7月31日（土）	コミュニティ市迫前広場	18：00～
❹	内海横町ふれあい盆踊り	8月7日（土）	内海横町商店街	17：30～
❺	春香園盆踊り大会	8月11日（水）	春香園老人ホーム玄関口	19：00～
❻	赤向坂の盆踊り	8月13日（金）	野路北小学校跡地	19：00～
❼	跡条「観音さん」盆踊り	8月13日（金）	安登東4丁目「観音さん」前	20：00～
❽	安浦夏まつり	8月14日（土）	グリーンピアせとうち	16：00～
❾	水尻夏まつり（盆踊り）	8月15日（土）	水尻老人集会所前	19：00～
❿	奥条盆踊り愛好会	8月15日（土）	奥条自治会館上の駐車場	19：00～
⓫	南谷地区夏まつり（盆踊り）	8月15日（土）	内海北6丁目西田さん空き地	17：00～
⓬	女子畑盆踊り	8月15日（土）	野路東小学校グランド	17：30～
⓭	中切盆踊り	8月16日（日）	中切自治会館	19：00～

「まちづくり人材育成研修」に参加してみませんか？

「安浦のまちづくりってどんなことをするの？」「毎日の仕事や家事に追われて地元のことはあまり知らないよ」という皆さん、今回、まちづくり人材育成研修を実施します。

研修というとちょっと堅苦しいなぁーと思われがちですが、実際には、安浦の名所・旧跡を車で視察したり、参加者でワイワイと将来のことについて話し合ったりするものです。

特に用意するものはないので、お気軽に参加して安浦を身近に感じてみませんか？

○日　　　時　平成22年8月21日（土）午前10時~
○対　　　象　安浦町在住で中学生以上の方　定員 20名
○内　　　容　フィールドワーク（山を満喫！中畑・市原・野呂山コース）
○持参するもの　筆記用具など
○連　絡　先　安浦町まちづくり協議会事務局
安浦市民センター　84 － 2261

安浦町まちづくりワークショップ

野呂川の清流をみんなで守ろう！

野呂川清掃

安浦町まちづくり協議会では、野呂川の清流を守ることと自然の生態系を学ぶ機会として、今年で4回目を数える野呂川清掃を行います。

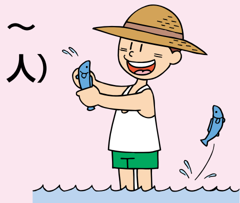
当日は、野呂川ダム公園に集合し、各グループ毎に分かれ市原から野呂山につながる道沿い（せせらぎロード）の川を清掃します。

まちづくり協議会では、「ただ清掃するだけはおもしろくない」ということから、広島大学の先生を招き、生態系の変化や野呂川流域の三津口湾に及ぼす影響などについても意見交換が行われます。

また、意見交換の会場となる市原自治会館では、地元の米や野菜を知ってもらうために地元の女性会などが協力し、手作り弁当を食べることもお楽しみのひとつ！

ぜひ皆さん、家族で参加してみませんか！

○日　　　時　平成22年9月5日（日）　9：00～
○集 合 場 所　野呂川ダム公園駐車場　会費500円（1人）
○持参するもの　タオル、着替え用のシャツ等
○連　絡　先　安浦町まちづくり協議会事務局
安浦市民センター　84 － 2261



原畑ホタル会を終えて・・・

6月12日（土）原畑橋の広場で、ホタルを鑑賞しながら地域の活性を語り合う「原畑ホタル会」が開催されました。

当日は、サックス演奏や元広島カープＯＢの山本一義氏を招き、地元女性会による手作り料理が振る舞われました。

参加者も今年は140名を数え、盛況のなか夜の8時頃から野呂川にホタルが舞い始め、幻想的な風景を見ながら盛り上がっていました。

主催である久保田会長さんは、今後も地域の皆さんと一緒に美しい自然を残しながら地域を発展していきたいと意気込んでおられました。

リューアルして盛況

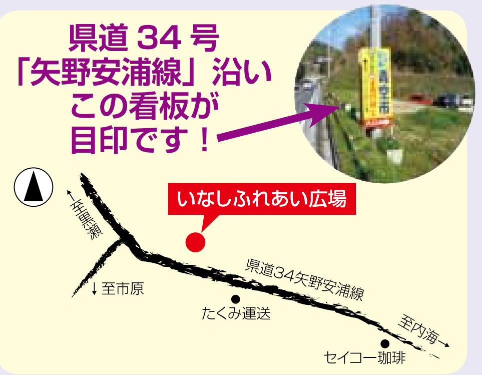
いなし安浦青空市

まだ、新しい青空市に
行かれてない方は、是非一度！

来んさい！
見んさい！
出しんさい！

開催日　毎月第3土曜日　朝8:00から開催
（7月は17日、8月は21日です）
※出店内容は毎月変わります。

この4月から、中畑にある「いなしふれあい広場」に場所を、移転した「安浦青空市」は「いなし」の協力のもと、「いなし安浦青空市」としてリニューアルしました。



会場には、20店以上が出店、駐車場も満杯になるほどの盛況です。地元の新鮮野菜はもちろん、安浦漁協（若部海）による鮮魚販売・地タコのたこ焼きや、採れたて野菜の天ぷら、花・植木・手作り品など盛りだくさんの市場です。

安浦絶景ポイントを発見！

棚田にビックリ！

「棚田（たなだ）」とは、傾斜地にある稲作地のこと。傾斜がきつい土地で、耕作単位が狭い田が規則的に集積し、それらが一望の下にある場合は千枚田（せんまいだ）とも呼ばれていることをご存知でしたか？

この時期、緑の縞模様がはっきりしていて、棚田の景観がもっとも生かされる季節でもある。

安浦の山間部では、こうした棚田がたくさんあり、四季折々の絶景を望ませてくれます。

棚田で耕作をされている方によれば*「棚田で作られた米は甘くてウマイんよ」*と棚田ブランドに胸を張っていた。

安浦の絶景棚田ポイントを巡ってみませんか？

赤向坂地区

中畑地区

内海　原垣内地区

女子畑の田休み会

6月20日（日）女子畑自治会館において、自治会主催による「田休み会」が開催されました。

昔の田植えは、子どもたちも手伝って皆が作業し、終わった後は、地域の家族が寄り合って行事などが行われていました。

その後、農業の機械化とともに共同での田植えもなくなり、地域のコミュニケーションも少なくなっていきました。

こうした経緯から、地域交流の輪を広げていこうと、平成元年から始まり、今年で22回目を数え現在も引き継がれています。今年は70歳以上の招待客を含む84名の参加で、藤龍会、女性会によるアトラクションが賑やかに行われ、中でも香川翔君（9歳）、天斗君（5歳）による「一寸法師」の踊りに、皆さんから拍手が送られていました。また、参加されているお年寄りからは、「毎年楽しみにしています」と地域の賑わいを喜んでいました。